

# 一 般 質 問

第558回北谷町議会定例会

質問者：高安克成

月	日	質問事項	質問要旨	質問の相手
12	22	1 本町の漁業振興と北谷漁港を核とした産業政策について	<p>(1) 直売・加工拠点の総事業費、財源、来客者数想定、北谷漁港の年間水揚げ量、事業者構成の現状について町の認識を伺う。</p> <p>(2) 水揚げ規模が小さい中で大型施設整備を先行させた理由、及び施設構造変更の理由と追加費用、その効果について伺う。</p> <p>(3) 運営主体の想定と収支見込み、原料確保の見通しと調達戦略、水揚げが伸びなかつた場合のリスクシナリオと対策について伺う。</p> <p>(4) 千葉県いすみ市の漁業DX（データ活用、ICT導入、研究機関連携）を本町で取り入れる考えはないか、また「ハコもの発想」から「中身主導」へ転換する考えについて町長の見解を伺う。</p> <p>(5) 直売・加工拠点の5年後・10年後の将来像と、その実現に向けた町長の責任について伺う。</p>	町長
		2 本町の保育施設における待機児童解消と保育士確保策について	<p>(1) 本町が実施している保育士確保策の具体的な内容と実績、及び千葉県松戸市のような多面的な施策を導入しない理由を伺う。</p> <p>(2) 園の新設と保育士確保策の費用対効果について、新設の総事業費と、同額を保育士確保策に充てた場合の試算を伺う。</p> <p>(3) 出生児童数が減少する中の保育施設増設が経営圧迫や保育士確保難につながる懸念について、町の認識と適正規模・適正数に関する基本方針を伺う。</p> <p>(4) 松戸市型の保育士確保策（給与改善、採用支援等）の導入可能性と、保育士確保を最優先課題と位置づける考えについて伺う。</p> <p>(5) 待機児童解消に向けた保育士確保の重要性について、町長の認識と今後の施策展開を伺う。</p>	町長
		3 ふるさと納税と民間連携を活用した「稼ぐまちづくり」について	<p>(1) 大規模観光イベントの総事業費、財源内訳、来場者数、経済効果の把握状況、及びふるさと納税の寄付額、手数料割合、経済効果、返礼品の現状について伺う。</p> <p>(2) 茨城県境町の「稼ぐ公共施設」モデルを本町で応用する考え方と、ふるさと納税と観光・産業振興を一体で担う新たな公社の必要性について町長の見解を伺う。</p>	町長

## 一 般 質 問

第558回北谷町議会定例会

質問者：高安克成

月	日	質問事項	質問要旨	質問の相手
12	22	4 北谷公園と温泉を活用したP a r k – P F Iについて	<p>(3) ふるさと納税基金等を活用し「町がオーナー」となる収益施設整備の検討状況と、「消費・体験の受け皿」不足に対する認識と整備方針を伺う。</p> <p>(4) 「北谷らしい名物」開発の可能性と、原料生産から販売まで一気通貫で設計する考え、及び遊休地を活用した観光農園等の構想について伺う。</p> <p>(5) イベントと産業を一体で設計する考えと、公社等による特產品の一括製造・販売体制の構築について町長のビジョンを伺う。</p> <p>(6) 境町の「まちづくり大学院」のような人材育成の仕組みを導入する考えと、ふるさと納税事務の役割分担に関する基本方針を伺う。</p> <p>(7) 「北谷モデル」を構築していく意思があるのか、町長の決意を伺う。</p> <p>(1) 千葉県長生郡睦沢町にある「道の駅むつざわ」は、温泉施設だけでなく、ドッグラン、オートキャンプも可能な広い駐車場、地元の特産物販売所などを組み合わせることで、多様な利用者を惹きつけ、安定した収益を確保している。本町の計画においても、温泉単体ではなく、こうした複数の機能を組み合わせた複合施設として再設計する考えについて、町の見解を伺う。</p> <p>(2) 特に、近年需要が高まっているペット連れ観光客向けの「ドッグラン」や、車中泊・キャンプ需要に応える「オートキャンプ機能」は、新たな財源確保と交流人口拡大の鍵となる。北谷公園の広大な敷地を活用し、これらの施設をP a r k – P F I事業として導入することについて、町の具体的な考えを伺う。</p> <p>(3) 「道の駅むつざわ」は、「暮らしているだけで健康になる」をコンセプトに、町民の健康増進拠点としての役割も担っている。本町の北谷公園においても、温泉による心身のリフレッシュ、ドッグランや遊歩道での運動、地元の健康的な食材を提供するレストランなどを組み合わせることで、観光客だけでなく、町民のウェルビーイング向上に貢献する「健康支援型公園」を目指すべきと考えるが、町の見解を伺う。</p>	町長